

今区間、最後の取り組み

こんな時だから仲間の声かけが大事です

ウイルスの拡大なんかに負けない

仲間の拡大で組織の免疫力を高めていこう

1月20日から始まった2020年春の拡大区間(第4区間)。今区間は事業所への雇用や、仲間の紹介による一人親方労働の加入など組合の拡大が日々広がっています。区間目標69人そして年間目標207人も達成し、さらなる超過達成を目指し取り組んでいます。(4月10日現在で区間拡大数93人、年間拡大数275人)

そんな中コロナウイルスの影響により、国は緊急事態宣言を発令、自粛要請も出ている中、今後の生活・仕事・健康面など先の見えない不安がウイルスと共に広がりをみせています。

こんな時だからこそ、仲間の声かけが大事になっていきます。「仲間の生活は仲間同士で助け合おう」というのが組合です。困った仲間がいたら、みんなで改善策を探し、見つけ、教えてあげる。この取り組みを強化するため、協力し合える仲間を増やしコロナに負けない免疫力の高い組織を目指していきますよ。

今区間での仲間の取り組みを紹介していきます。

第4区間
1/20(月)~4/19(日)

市原市長から御礼状が届きました

昨年の台風被害に対する大きな貢献が認められ、市原市長からお礼状が届きました。また市原市社会福祉協議会からも感謝状が贈呈されることとなり「市原市社会福祉協議会福祉顕彰事業」の授与式にて数ある表彰団体の中から千葉土建が代表して授与される予定でしたが新型コロナの影響で式自体は中止となりました。しかし今回の連携を通じて千葉土建と市原市そして社会福祉協議会の信頼関係は確固たるものになりました。今後ウイルスの収束後それぞれ懇談を行う予定となっています。

ゴールドカード交付されました

建設キャリアアップシステムの手続きも加速中

2月13日に建設業許可の新規申請の相談で窓口に来た(株)アクアテックの社長の高師さん(写真左)話を伺えば『登録配管基幹技能者』の資格も持っており、すぐに建設キャリアアップシステムについて説明したところ、その場で申請する運びとなりました。3月上旬に全ての登録が完了し、3月15日には「カード届きましたよ」と高師さんから支部に報告が入りました。役員中心だった登録が事業所へと広がりを見せ始めています。(建設業許可も取得できました)

市原市へ緊急要請行動実施

3月27日、市原市の契約検査課と保健福祉課を訪れ、コロナウイルスに関する緊急要請を行いました。市では、市内で感染者が出る前に前倒して「対策本部」を設置。工事一時中止のガイドラインを公共工事現場に通達はしていたが「まだ一時中止した現場は無い」と言います。「現場での感染対策についての徹底」や「助成金の実効性を高めるための対策」など9つの項目を伝え、両課ともに今後の対策本部会議にて検討材料として机上に載せてもらえることとなりました。



自分の携帯を片手にアポをとる並木さん(上) 夫が勤める会社の社長にも直談判する茅野さん(下)

2月12日、分会の代表が支部に10人集まり事業所アプローチャ(写真上)

【第4区間の取り組み】
ワンチーム作戦
支部において事業所の対策が今課題となつていきます。分会だけに頼らず、支部で一丸となつてワンチームを組み、電話もつながりました。

かけを行いました。この日6件のアポどりに成功。事業所との接点を作るきっかけとなり、成果が見えたことで行動に参じた仲間の自信にもつながりました。

新型コロナの影響で目を追うごとに、行動の規制が厳しくなつていき拡大訪問行動が難しくなつてきました。そんな中、主婦の会では「訪問ができなければ、電話かけだわ」と3月12日に主婦の会の会長の田中さんが、中心となつて主婦の会の役員5人が支部に集まり、電話かけ行動を実施しました。ここで成果は出ませんでした。しかし「コロナなんかに負けたくないじゃないですか」という思いが参加者の中で高まり、その日の内に対象者へのポスティング行動を行いました。これをきっかけに後日1人の会員拡大を勝ち取ることができました。力を合わせればなんとかなることを行動で証明してくれました。



対象者に電話する会長の田中さん

気がけば、今年度紹介してくれた仲間の数は18人。継続的に未来の建設職人の担い手を発掘してくれています。また、一人親方労働だけでなく、中建設業を築くための声かけは、今後も続きます。

訪問ができないからといって諦めない 主婦の底力が光る拡大行動

今年なんと18人も紹介してくれた佐藤さん



今日も手続きに来てくれた佐藤さん

「会社を設立して今年で4年目になります」という(株)TRUSTの社長の高師さん。平均年齢26歳の若い従業員達をまとめ、日々会社を大きく発展させるため頑張っていました。「従業員には色々な資格の取得させたいので、千葉土建を頼りにしています」と従業員のスキルアップを計画だてたり会社としては「建設業許可の取得やCCUSの登録など、積極的に取り組んでみたいんですよ」と語る高師さん。千葉土建でサポートできる内容を確認し合う事ができました。

2月17日 早坂さんと対話



会社の未来を真剣に語ってくれました

2月18日 仲間さんと対話



仲間が組合に顔を出すアイデアをくれました

「んー、従業員はなかなか組合のイベントに行ってくれと言っても行かないんだよね」と言いながらも「交付式とかイベントにスタンプラリーの要素があったら、本人だけでなく奥さんとか家族も興味持って来てくれるんじゃないかな」と従業員やその家族に、組合のことを知ってもらうためにはどうしたらいいのかを真剣に考えてくれた(株)大城の社長の仲間さん。

3月最終週 保険証交付でも対話



チラシを用いて国の助成制度を説明

3月も中盤に入るとコロナの影響が広がりがアポを取っていた企業との懇談が難しくなる中、保険証の交付や窓口手続きにきた方へ「くらしや仕事に影響がでませんか」と聞き取りを始めました。雇止めや倒産等といった結果にならないよう会社の状況を確認しつつ国が実施する制度をまとめたチラシ(別紙参照)を用いて説明。一様に不安を感じていますが、一方で「困つたらとありあえず組合に連絡してみるよ」と言ってくれる方も増えてきています。

これまでの事業所との懇談